

かたらい

校区の取り組みを紹介します!

原 校区

①バス研修旅行

2025年6月25日(水)に参加者38名でバス研修に行きました。八女伝統工芸館で手漉き和紙体験をして、うちわを作りました。その後、八女福島の白壁の町並みを散策し、福島地区まちづくり協議会の方の説明を聞きました。

八女は仏壇・人形・提灯などのさまざまな伝統工芸があり、江戸時代初期には、城下町として栄えた歴史があり、文化と歴史のまちだということ学びました。



②「原かるた」作り

令和6年度から7年度にかけて、地域の皆さんから「原かるた」の標語を募集しました。一部紹介します。

- さ:桜の名所 数多く 原小福岡工業
- ち:ちょっと待て あやしい 電話まず相談
- み:みまもり隊 子どもに託すは 平和な世界

絵札は智書(さとりしよ)で書きました。

智書とは筆ペンを使って、文字を丸く書くものです。

誰でも気持ちを丸く持って書けば、きれいにかわいく書くことができます。完成した絵札は1月の校区新年祝賀会で披露しました。

今後「原かるた」は委員研修、校区の行事等で活用していきたいと思っています。



③「きんしゃい!」(原校区で男女協主催で行う研修会等の名称)

2025年11月27日(木)に男女協委員と地域の方で「智書でかるた作り」をしました。智書の練習をして、しおりに「ありがとう」を書きました。その後、かるたの標語を1枚書いていただきました。

原校区:松永 真喜子



早良区男女共同参画をすすめる宣言

- ①地域で「男女共同参画について考える機会」を提供し、個々の意見を尊重・共有する。
- ②学びと気づきに努め、その成果は発信する。
- ③公民館や校区の各団体の皆さんとの連携に努める。
- ④自治協議会の一員として、「男女共同参画の視点」から校区行事を盛り上げる。

2025度 早良区男女共同参画をすすめる会 委員紹介

百道浜 田中 洋子	小田部 川田 恵子	田隈 印口 沙也加
西新 曲手 さよみ	飯倉中央 佐藤 京子	田村 緒方 豊子
百道 江口 智之	飯原 大須賀 睦子	野芥 日高 知子
高取 一坊寺 優子	原西 古賀 ゆかり	四箇田 堂之前 津津子
室見 江藤 みどり	飯倉 細川 勝子	入部 福山 京子
原 松永 真喜子	有田 中島 豊	脇山 真子 美穂
大原 吉澤 恵美子	有住 中村 名菜代	内野曲洲 高木 俊子
原北 手嶋 万里	賀茂 諸 夢彩子	早良 岩尾 裕美



【発行】 早良区男女共同参画をすすめる会・早良区役所地域支援課
〒814-8501 福岡市早良区百道2丁目1番1号 電話 092-833-4403 2026年3月発行

2025年(令和7年)度早良区男女共同参画講演会 「自分をほめて社会と交わる」

講師 神田 紅さん (講師・俳優・映画評論家・エッセイスト・レポーター)
2026年2月8日(日)



講演に先立ち、早良区男女共同参画をすすめる会の委員による「〇×クイズ」を実施し、会場が和やかな雰囲気になりました。講演が始まりました。

神田さんは、大学進学で上京されるまで、小学校・中学校・高校時代を早良区で過ごされており、「ここは町内会のように」と親しみを込めて会場の皆さんに語りかけてくださいました。

俳優養成所時代や、昭和を代表する俳優の付き人を務めた経験、そして講談の世界へ進まれたご自身の体験を通して、「自分をほめて社会と交わる」ためのヒントを伝えていただきました。

特に「大きな夢(目標)を持ってほしい。叶わないかもしれないが、近づくことはできる。そのためには、少し無理をすることも必要。あきらめたら、すべてがそこで終わってしまう。」という言葉は、多くの参加者の心に残るメッセージとなりました。

俳優から講師に転身された際の修行時代に、「師匠からは100倍にしてほめていただいた」と語られました。ほめられることで最大限の力が引き出されること、そして「人をほめることの大切さ」を強く伝えてくださいました。

また、簡単にできる「自分をほめる方法」として、鏡に向かって「私は元気!」「私はきれい!」「私は大丈夫!」と声に出し、笑顔の訓練をすることで、自分を鼓舞できると教えていただきました。

参加者にとって、自分自身と向き合い、前向きに社会と関わるきっかけとなる、温かく力強い講演会となりました。

小田部校区:川田 恵子



HUG(避難所運営ゲーム)研修について 2025年3月19日(水) 早良市民センター

「博多あんあんリーダー会」の指導のもと、男女共同参画をすすめる会委員と、各校区の自主防災会会長等の参加で、「HUG」というゲームを通して、地震等の災害時における避難所の設置、運営についてみんなで考える研修をしました。

「HUG(ハグ)」とは、避難所(H)に避難してくる様々な避難者をイメージしたカードを使って、避難所運営(U)を考えるゲーム(G)です。

まず、男女共同参画の視点で避難所のレイアウトを考え、次々に訪れる避難者の年齢、性別、家族構成等、様々な条件の避難者の居住スペースを、瞬時に判断して決定していききました。

このゲームは避難所の運営疑似体験となりますが、『これは実際に災害が起きた時は、とてもスムーズに運営することは難しい。日頃から常に、地震や風水害の防災訓練や備えが必要だ。』と痛感させられました。

HUG実施の翌日3月20日は、福岡西方沖地震から20年目でした。20年前の地震の怖さを思い出し、改めて災害における自助、共助、公助の重要性を認識しました。

高取校区:一坊寺 優子





2025年度ブロック活動紹介

早良区男女共同参画をすすめる会では、区内を4つのブロックに分けて研修を行っています。2025年度は次の4つのブロックで研修を行いました。

Aブロック (野芥、四箇田、入部、脇山、内野・曲淵、早良校区)

ジェンダー平等社会『ジェンダー』って何?

講師 安部 修さん(早良区役所生涯学習推進課 人権教育推進員)
2026年1月24日(土) ともてらす早良

ありのままの自分で生きるには、ジェンダー(社会的につくられた性別)について学び考えることがとても大事になります。性的少数者の存在も含めて、男性だから女性だからこうあるべき、といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、誰もが自分らしくいられる社会を目指すこと、それが「ジェンダー平等(男女平等)」と、改めて認識できました。

また、「無意識の偏見(アンコンシャスバイアス)」については、様々な場面を表した絵を見て、どんな思い込みがあるのかグループに分かれて話し合いました。

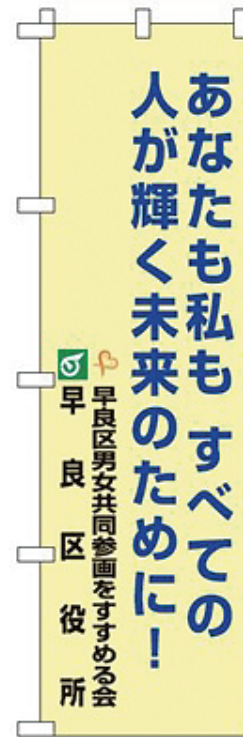
「無意識の偏見」から「意識した偏見(コンシャスバイアス)」へ続いていくのか、それとも立ち止まれるのか、そこには「学び」が大事になります。自己の言動を過度に抑制したり構えたりするのではなく、お互いを理解し受け容れ合い、また率直に意見が言える人間関係づくりも、とても大切であることを実感する研修会でした。

四箇田校区:堂之前 世津子



のぼり旗

早良区男女共同参画をすすめる会では、男女共同参画を推進するため、今年度、2種類の「のぼり旗」を作成しました。



Cブロック (大原、原北、小田部、飯倉中央、飯原、原西校区)

映像で学ぶジェンダー入門

～身近に潜む『性別』の矛盾や思い込みを考える～

講師 安部 修さん(早良区役所生涯学習推進課 人権教育推進員)
2025年11月9日(日) 小田部公民館

「男性だからこうあるべき」「女性だからこうあるべき」など、男女で役割が決められるジェンダースtereotype。映像では、「スーツ男子」といった言葉の裏に、どのような性別固定観念が潜んでいるのかを考えながら視聴しました。視聴後は、7グループに分かれて自由に意見を出し合い、他校区の方との意見交換ができました。

その後、講師より、男女共同参画社会、経済参画、日本の出生数の推移、少子化問題、生涯非婚率の推移(男女別)など、分かりやすく説明していただきました。

若い世代の方たちの間では、ジェンダー平等の意識は変わりつつありますが、地方ではまだまだ進んでいないのが現状のようです。講師からは、まずは地域、家庭が変わらないとジェンダー平等は進まない、とお話いただきました。私たちも身近なところから意識をもって行動できたらと思います。

飯原校区:大須賀 睦子



Dブロック (西新、百道、百道浜、高取、室見、原校区)

『私流リーダーシップ』

～できない理由より、できる方法を考えよう～

講師 権藤 光枝さん(株式会社ランチェス代表取締役 社会福祉法人たかとり福祉会理事長)
2025年11月1日(日) 高取公民館

今回お話いただいた権藤光枝さんは、21歳でシングルマザーとなり、働きながら安心して子どもを育てられる場所がないこと、同じように困っている人がたくさんいることに気づき、24歳で保育や就労支援の会社を立ち上げました。お金も人脈もない中で、持ち前の行動力とバイタリティーで道を切り開いてゆく姿に、大変感銘を受けました。

若い女性ということで、年長者との人間関係に苦労されたとのことですが、自分の生き立ちや会社を立ち上げるまでの経緯をオープンにすることで、自分の思いが伝わりやすくなり、協力が得られるようになったとのこと。

その後、障害をかかえる子どもたちとその家族が通常の子育てサービスを受けられずに困っていることを知り、そのサービスがないなら自分でやろうと様々な事業を展開され、当事者や現場の声に真摯に耳を傾け、どうしたら問題を解決できるかを考え、実践していかれました。性別にかかわらず、困っている人たちを何とかしたいという強い思いは、共感呼び、支援の輪が広がっていくのだと強く感じました。

最後に、権藤さんが言われた言葉を紹介します。

「人は認められるところに行き、感謝されることにとどまる。」

百道校区:江口 智之



Bブロック (飯倉、有田、賀茂、有住、田隈、田村校区)

多様性のパズル『ちがいのちがい』

講師 福永 怜生さん(NPO法人みんなの学び館 フリースクール教員)
2025年9月14日(日) 田隈公民館

私たちは、少なからず無意識に思い込みや先入観で、物事を判断しています。今回の研修は、視点を変えて若い世代から見た、男女共同参画についてアプローチしてもらいました。研修はクイズ形式で実施し、8組に分かれてのグループワークにより、他校区の皆さんと意見交換をしながら考えて、答えを出していきました。ただ聴講するだけの研修ではなく、話し手と聞き手の双方向コミュニケーションが取れた良い研修だったと思います。次回からも有意義な研修会が続くことを願います。

有田校区:中島 豊

